

自立活動だより

愛知県立大府特別支援学校

2019.3.5 No.3

大府特別支援学校では、「自立に向けて、健康状態の維持・改善を図り、自分のよさに気づき、自己のもっている力や可能性を引き出しながら、主体的に行動できる力の育成をめざす。」という目標のもとに、自立活動をしています。今回は、名大病院と訪問教育における3学期の活動の様子をお伝えします。

施設内教育 名大病院

◆小学部◆

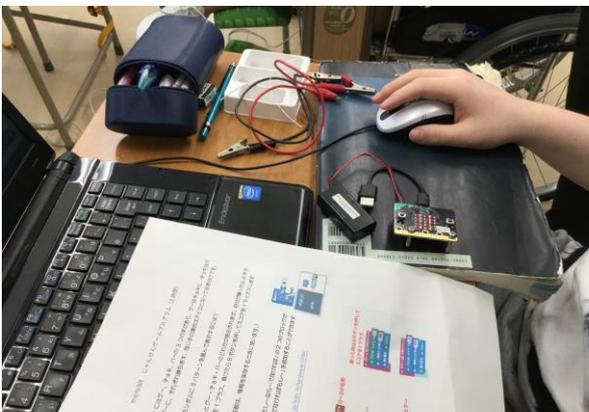
1～2年生は、ルールを守って活動に参加したり、友達とかわったりすることを目標に、すごろくや、ボウリングなどに取り組みました。教師の説明を聞き、順番やルールを守って活動することができるようになりました。また、上手にできた友達を褒めたり、アドバイスをしあげたりしながら、友達と楽しく活動する姿が見られました。

3～6年生は、友達と協力することや、友達の話の聞いたり、自分の考えを説明したりすることをねらいとして、プログラミングに取り組みました。回を重ねるごとに、友達に自分の考えを提案したり、友達の話をよく聞いて、受け入れた上で自分の考えを付け足して発言したりすることができるようになってきました。



友達と協力してのプログラミング

◆中学部◆



「マイクロビット」を使っでのプログラミング

1年生は、協調性や論理的思考力を高めることを目標にしました。人形が踊っているように点滅するプログラムを考える活動では、試行錯誤しながら互いのアイデアを伝え合い、楽しみながら行うことができました。2年生は、集中力を高めることを目標に「消しゴムはんこ」に取り組みました。連続模様を作るというち密な作業も正確に作るようになりました。3年生は、自分について他者に説明する力を付けることを目標に、自己PRを考えました。友達の前で発表し、意見をもらいながら自分の言葉で分かりやすく伝えることができるようになりました。

訪問教育

◆小学部◆



なわとびの様子

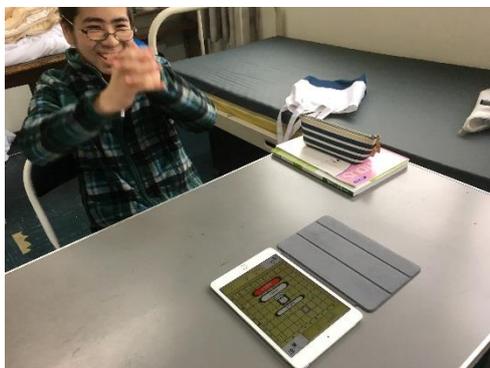
目標に向けて努力することや、成功体験を積み、自己肯定感を高めることをねらいとして、室内で縄跳びに挑戦しました。跳んだ回数を記入する「マイレージ表」のゴールを目指して、何度も何度もあきらめずに挑戦する姿を見ることができました。「楽しいね」と気持ちよさそうな笑顔が見られました。

手指の巧み性を高めることをねらいとして、おりがみや指編みに挑戦しました。繰り返し取り組み、折り方や編み方を覚え、作品を一つずつ仕上げることができました。



跳んだ回数のマイレージ表

◆中学部◆



タブレットを使っでの練習

あきらめずに粘り強く物事に取り組む力を高めることを目標に、担当教員と将棋の対局に取り組みました。タブレットを使用して、コンピューター相手に練習するなど継続して取り組む中で、自分が不利な状況になってしまうときがあっても、落ち着いて先の展開を予想することができました。状況を打開する方法を多様な視点から考え、自信をもって次の一手を打つことが

できるようになってきました。担当教員とのコミュニケーションもさらに深まり、この取り組みを通じて、将棋以外のさまざまな活動にもよりいっそう前向きに取り組めるようになりました。



将棋盤を使っでの実戦